



「大きくなって、ごめんね」
娘は涙ながらにそう言った。

火・祝日
3/21
10:00から
(11:30頃まで)

こどもまんなか障害児福祉を望む親の会オンライン・シンポジウム
**障害児福祉における
所得制限**

【申込み方法】
左記QRコードよりお申込み下さい。
(締切3月19日)



左記QRコードよりお申込み下さい。
(締切3月19日)

障害をもつ子どもたちの育ちを支える「療育」や「装具」、「医療費」にも、親の所得により支援への制限が設けられています。

シンポジウムでは、障害児制度の所得制限に関する説明、また、当事者の声、そして当会会員が調査したアンケートの発表をさせていただきます。

また、こども・子育て支援、障害児福祉の充実を提言されてきた当会顧問の野田聖子氏からのご挨拶と、新生児科医として、多くの障害を持つ子どもたちを担当し、所得制限世帯の厳しい現実に向き合ってきた今西洋介氏の基調講演もございます。

こども・子育て支援における所得制限、障害児福祉にご関心のある方々のご参加を心からお待ちしております。

ご挨拶



野田 聖子 氏

衆議院議員
岐阜県議を経て'93年衆議院議員初当選、現在10期目。
1998年に戦後最年少大臣(当時)として郵政相に就任、
2008年には消費者行政推進担当大臣となった。
総務大臣・女性活躍担当大臣、内閣府特命担当大臣
(少子化対策・地方創生・男女共同参画)を歴任。
人口問題や女性活躍、障害児者をはじめとした
多様性社会の推進などに取り組む。

基調講演



今西 洋介 氏

新生児科医・小児科医、小児医療ジャーナリスト
一般社団法人チャイルドリテラシー協会代表理事。
漫画・ドラマ『コウノドリ』の取材協力。
NICUで新生児医療を行う傍ら、ヘルスプロモーションの
会社を起業し、公衆衛生学の社会人大学院生として
母親に関する疫学研究を行う。
SNSを駆使し、小児医療・福祉に関する課題を
社会課題として社会に提起している。

こどもまんなか
障害児福祉を望む
親の会

こどもまんなか障害児福祉を望む親の会

車椅子などの補装具や
障害児が通う放課後デイサービス
障害児にかかわる社会手当等
「障害児福祉の所得制限撤廃を求める」
保護者を中心とした
任意団体です。

会公式
ホームページ

【お問い合わせ】
NPO法人サードプレイス
中西美穂
080-2022-7230
centerwest1209@gmail.com

こどもまんなか障害児福祉を望む親の会オンライン・シンポジウム

障害児福祉における所得制限

【プログラム】

「こどもまんなか障害児福祉を望む親の会」に関して	代表：八田千尋
障害児制度の所得制限について説明	副代表：石田ひとみ
ご挨拶 ※録画でのご挨拶になります。	顧問：野田聖子議員
基調講演	アドバイザー：今西洋介医師
当事者の声	会員：坂口智子 田中舞 河村稔
障害児福祉制度の所得制限撤廃についてアンケート発表	会員：原 紘志
今後について	代表：八田千尋
質疑・応答	

「大きくなって、ごめんね」

当会のメンバーの一人が、実際に娘から伝えられた言葉でした。
補装具は、障害をもつ子ども達にとって身体の一部のような存在であり、本人の成長に合わせて新調や調整が行われるもの。
だからこそ、親が子どもに悟らせないよう配慮していても、補装具に関わる事に子どもが同席する場で金額が耳に入ることもあるのです。
親の負担を知った彼女は思い悩み、目に涙を浮かべながらこの言葉を伝えました。
子どもたちの身体、そして心の健やかな成長のために、この所得制限という制度が大きな壁となっている事を、どうか多くの方々を知って頂きたいです。



こどもまんなか
障害児福祉を
考える親の会
公式ホームページ

公式LINE

Twitter

note

Instagram



～各種SNSのフォローを、どうぞ宜しくお願いします～